



いよいよ始まった東京オリンピック・パラリンピック。

オリンピックをめぐるっては、ジェンダーが思わぬ形で注目を浴びる出来事がありました。

「女性がたくさん入っている会議は時間がかかる」

このいわゆる“森発言”は、皆さんの記憶に新しいと思います。まさに、日本全体が「ジェンダーとは何か、男女共同参画とはどうあるべきか」を認識させられた出来事だったと言えるのではないのでしょうか。

## オリンピックから考えるジェンダー



今回の大会はコロナ禍ということもあり、無観客の会場が多く、少し寂しい気もしますが、テレビやラジオなどで選手たちの姿を応援しましょう。今回はオリンピックをジェンダーの視点からのぞいてみます。

女性選手の参加は第2回パリ大会から

オリンピックは 1896 年に第1回が開催されましたが、女性には門戸が開かれていませんでした。

女性は 1900 年の第2回大会から参加が認められましたが、全選手 997 人のうち 2.2% (22 人) でした。



日本初の女性選手は陸上の人見絹江選手

日本で最初にオリンピックに参加した女子選手は、1928 年アムステルダム大会に女子 800m で出場した人見絹江選手。

当時は女性がスポーツをすること自体が珍しい時代で、人見選手は偏見に打ち勝ちながら、普及啓発などにも注力しました。



出場選手に占める女性割合は過去最高に

回数を重ねるごとに女性選手の参加も増え、2012 年ロンドン大会で初めて全競技で女性の参加が可能に、また全参加国・地域から女性選手が派遣されました。

東京大会の女性選手の割合は 48.8% と過去最高になる予定です。



スポーツ団体の女性の役員や指導者

女性選手の人数は増えていますが、一方で指導者や団体の役員は伸び悩んでいます。スポーツ庁の調査によると、競技団体の女性理事の割合は 15.6% にとどまっています。五輪・パラリンピック組織委員会では、最近、女性理事が 4 割を超えました。

※出典：男女共同参画白書



選手みんな、  
頑張れ～!



スポーツの世界でもジェンダー平等は道半ばです。

オリンピック憲章にうたわれているように、性別によって差別されることなく、誰もが権利を受けられる社会を、スポーツをするしないに関わらず一人ひとりが求めていくことが大切です。

## 日本の結婚と離婚の現状

現在、国では最近の家族のあり方をめぐって、結婚と家族に関する研究会を開催しています。その報告の中から、日本の現状を少しお伝えします（2019年データ）。

### 結婚

60万件/年

### 離婚

21万件/年

実に3組に1組以上が離婚！

結婚する夫婦のうち、どちらかが再婚の割合 26.7%（約4組に1組）

### 〈平均初婚年齢〉

男性  
31.2歳

女性  
29.6歳



今の30代が60代になったとき、結婚して離婚しないのは2人に1人ですって…



## 今月知っておきたい言葉

### アンコンシャス・バイアス

「無意識の思い込み」のこと。育つ環境や所属する集団の中で意識することなく脳に刻み込まれ、当たり前だと思ってしまうもので、誰にでもある。

ジェンダーの文脈では、例えば「子育ては女性がするもの」「力仕事は男性がするもの」等、性別で役割を分ける場合に、問題だとして使われることが多い。

本人は意識していないため、気付いたときに指摘し合える人間関係が重要。

※出典：内閣府男女共同参画局



## 新着図書のご紹介



パレア松本には図書コーナーがあり、どなたでも自由に本を読んだり、借りたりすることができます。今月も2冊をご紹介します。



### 『令和3年版 男女共同参画白書』（内閣府編、2021年）

“え～、白書お～?!”と思われた方もいるかもしれません。国が出している堅いイメージの白書。しかし、これを見ずに、男女共同参画は語れません。今年にはコロナと男女共同参画について冒頭で特集が組まれています。

内閣府男女共同参画局のホームページでも見ることができますよ。

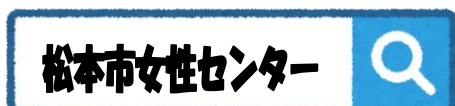
### 『早く絶版になってほしい #駄言辞典』（日経×woman 編、日経BP社、2021年）

日本経済新聞社が昨年11月に紙面で呼び掛けた、心をくじく「<sup>駄げん</sup>駄言」を集めてあります。この本が必要なくなり、絶版になることを目指しているという、ちょっと変わった一冊。「それでも男か」「お局」「君って家庭的じゃないよね」等々…



このニュースレターは、松本市公式ホームページでも見ることができます

**Facebook もやっています！**



### ＜編集・発行＞

松本市 人権共生課（松本市女性センター）

〒390-0811

松本市中央 1-18-1 Mウイング3階

TEL 0263-39-1105 /FAX 0263-37-1153